

# 大山登山における新型コロナウイルス感染拡大防止対策例

令和4年4月28日  
鳥取県西部総合事務所

感染力の非常に強い変異型などの新型コロナウイルスが全国的に感染拡大している状況を踏まえ、大山への登山者が増加するシーズンを迎えるにあたり、安全・安心な登山となるよう新型コロナウイルスの感染拡大防止対策例について、関係機関と連携して登山者への周知・徹底を図っています。鳥取県では県外往来の際に、しっかりと感染対策をしていただくよう呼び掛けています。

## ■体調不良時の登山は控えましょう

- ・発熱・咳。咽頭痛などの症状がある場合は、無理せず登山を中止しましょう。

## ■登山の前に万全な準備をしましょう

- ・感染防止に向けて、マスク・アルコールジェル・ティッシュ・ビニール袋等を準備しましょう。

## ■グループ登山は5名以内少人数で行いましょう

## ■密閉、密集、密接を避けましょう

- ・一つの「密」でも感染しやすくなっていますので、従来よりも格段に注意しましょう。

## ■歩行時は2メートル以上の間隔をとりましょう

- ・前後の人との適度な距離（間隔）をとり、密な状態にならないようにしましょう。

## ■登山中と飲食シーン以外は、マスクを正しく着用しましょう

- ・混雑時など人と人との距離が近い場合は、登山中や休憩時であっても熱中症に注意しながらマスクを着用しましょう。

## ■避難小屋など屋内に入る前には必ず手指消毒を行い、他の人との距離を取り、適宜窓を開放し換気を行いましょう

## ■トイレ使用前後は、消毒液で手指や触れた箇所などを消毒しましょう

- ・順番待ちの際は、できるだけ間隔をとりましょう。